

## Lesson37

被動動詞(V 受身形) 「V れる」「V られる」→被動助動詞

I グループ⇒把「う段」音改成「あ」段音+「れる」

II グループ⇒「る」改成「られる」

III グループ⇒ <sup>く</sup>来<sup>こ</sup>る⇒来<sup>こ</sup>られる    する⇒される

被動動詞句

動作行為者

名詞 1 (人) は 名詞 2 (人) に + 被動動詞 (V)

直述句

被動動詞句

1) <sup>せんせい</sup>先生 は <sup>わたし</sup>私 <sup>ほ</sup>を褒めました。→ <sup>わたし</sup>私 は <sup>せんせい</sup>先生 <sup>ほ</sup>に褒められました。

↑行為者 A (A 誇獎 B)

↑接受行為者 B (B 被 A 誇獎)

<sup>せんせい</sup>先生 は <sup>わたし</sup>私 <sup>しか</sup>を叱りました。→ <sup>わたし</sup>私 は <sup>せんせい</sup>先生 <sup>しか</sup>に叱られました。

↑行為者 A (A 責罵 B)

↑接受行為者 B (B 被 A 責罵)

2) <sup>しゅにん</sup>主任 は <sup>わたし</sup>私 <sup>しつもん</sup>に質問をしました。

→ <sup>わたし</sup>私 は <sup>しゅにん</sup>主任 <sup>しつもん</sup>に質問をされました。

3) <sup>がくせい</sup>学生 は <sup>きむらせんせい</sup>木村先生 <sup>そんけい</sup>を尊敬しています。

→ <sup>きむらせんせい</sup>木村先生 は <sup>がくせい</sup>学生 <sup>そんけい</sup>に尊敬されています。

4) <sup>せんせい</sup>あの先生 は <sup>がくせい</sup>学生 <sup>そんけい</sup>に尊敬されています。

- 5) やまだ 山田さんは、ときどき せんせい 先生 に しか 叱られます。
- 6) おかしいことを い 言ったので、(わたし わたし) みんな に わら 笑われました。  
可笑

以上例句中分別以助詞「を」、「に」表現的「接受行為的人(名詞1)」

表: 非関個人利害的、無情物或抽象事物受到某動作之「被動」

例)

- この仕事は しごと 女性に じょせい きら 嫌われています。
- じゅうはっさいみまん 十八歳 未満の人の ひと きつえん 喫煙は ほうりつ 法律で きん 禁じられています。  
上一段Ⅱ
- まちじゅう 町中が ゆき 雪に おお (覆蓋) 覆われています。

※被動動詞句常使用於非関個人利害的社会現象或自然界的現象

名詞1 は 名詞2 (人) によって 被動動詞 (V)

- げんじ 源氏 ものがたり 物語は むらさきしきぶ 紫式部によって か 書かれました。
- でんわ 電話はベルによって はつめい 発明されました。

※ 「 か 書く 、 はつめい 発明する 、 はっけん 発見する 」

行為者不用「に」、而是「 に よって 」表示

名詞から／名詞で つくられます

- さけ 酒は こめ 米 から つく 造られます → 原料 (化学)

• 日本にほんの家いえは木きでつく造られます → 材料 (物理)

作られます